

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(13)番 福山市立 蔵王小 学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	論理的思考力・表現力	協働性	自己指導力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	○課題を見つけ、見通しを持って仲間と共に解決しようとしている。	○自分の意見と相手の意見を比べながら聞き、根拠を明らかにして自分の考えを説明することができる。	○相手意識を持ち、積極的に人間関係を築こうとしている。	○様々な活動に進んで挑戦し、責任を持ってやりとげおとしている。 ○自らの行動や学びが適切であるか振り返りながら、より良い生き方を考え創り上げようとしている。

2 授業の現状

○児童が題材・教材に対して、「問い」を持ち、課題解決意識を必然的に抱くような教材提示の仕方や児童の対話的な学びを生み出す教師の「切り直し」や「問い直し」の質を向上させる必要がある。
○「ふりかえり」指導のあり方や主体的に思考を深めていく授業展開のあり方の研究を進めていく必要がある。

転換

3 めざす授業の姿

○児童自身が「考えたい」という思いで課題をもち、単元のゴールを見通しながら、積極的に課題を追求することができる授業
○根拠を明確にししながら自分の考えを交流し、論理的思考を深めることができる授業
○「ふりかえり」の場を通して、集団における考えの深まり・広がりや成長する自己と集団を実感することができる授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
○授業力振り返りシートを活用し、6月末までに全学級肯定的評価を80%以上にする。 ○1学期に思考ツール等を使った公開授業を1人1回以上行い、小グループで協議する。 「学びが楽しい授業」、子供達が自分で創り上げていく授業の実施を目指す。	○教師の授業力振り返りシートから肯定的評価は、80%までであり、教材研究の仕方や子どもへの問いの持たせ方について研修・共通認識を図ったことが授業改善への意識につながっている。 ○2学期以降は、子どもたちが主体的な学びができていると感じられる授業ができるよう授業振り返りのアンケートの対象を子どもたちに移しその結果を踏まえて授業改善をする。	○児童への振り返りシートを活用し、「楽しい授業」「自分で創り上げている授業」だと評価できる児童を全学級75%以上にする。 ○「児童自身で創り上げる」を意識した授業を全学級週1回以上行う。	○児童への振り返りシートの結果より「授業が楽しい」と感じている児童が86%「自分で創り上げている授業」だと感じている児童は87%となり、自分で学ぶサイクルを作ることができるようになってきている。 ○「児童自身で創り上げる」を意識した授業を100%の教師が実施している。	○自分の成長を感じさせるために学びの振り返りを充実させ、「自分の学びを振り返ることができる」項目を80%以上にする。 ○教師間で目指す授業を共有するため、月一度、授業対話の時間を設け交流する。	○全学級で、振り返りの時間をとり、子ども自身で自分の学びを振り返ることができた。 ○放課後や研修の時間に、他学年と授業について話す時間を積極的に作り、学校全体で子どもが主体になる学びについて共通理解を進めた。

5 取組の結果等

数値は2019年(R1年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

国語	58 (-5.8)	自分にはよいところがある	43.8
算数	58 (-8.6)	先生はよいところを認めてくれる	75.0
		将来の夢や目標を持っている	71.9
		人の役に立つ人間になりたい	90.7

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	92.0
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	80.0
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	94.0
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	78.0

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (12)月末現在

暴力行為	0.0	不登校	0.0
------	-----	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 30/48	●男子・女子において立ち幅とびの達成率が低い。	○男子の立ち幅とび・50m走、女子の立ち幅とびの達成率が低い。	○体力向上に取り組むことのできるコーナーを設け、活用させる。 ○体育の授業の準備運動に、重点課題に関連した動きを継続して取り入れる。
(女子) 37/48	○ソフトボール投げの達成率が向上した。		
目標値	○立ち幅とび・50m走の達成率を全国・県平均値以上にする。 ○全学年全種目の中で県平均以上の項目を70%以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	90.0	10.0
仕事に充実感がある	90.0	10.0

児童生徒アンケート(%) (12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	86	14
自分の考えは、認められている	83	17